

## 報告 1 印旛沼の治水対策に関する要望書の提出について

### 国土交通省の現在の状況

国土交通省が平成18年2月に策定した利根川水系河川整備方針の中で、印旛沼を既存洪水調節施設として有効活用することが位置づけられており、現在、これを受けて河川整備計画の策定作業が進められています。

### 印旛沼関連事業市町村連絡会議

#### 印旛沼の治水対策について 国土交通省及び千葉県に要望書を提出

昨年11月2日開催の総会審議を経て、12月7日に国土交通省及び関東地方整備局、12月20日には千葉県へそれぞれ要望書を提出いたしました。

#### 要望内容要旨

早期に利根川水系河川整備計画を策定していただき、安全に十分配慮した印旛沼の総合的な治水対策を講じることを要旨としたもので、具体的には、中央干拓低地排水路の一級河川指定及び整備、また国営かんがい排水事業印旛沼二期地区との十分な調整等について要望いたしました。

町といたしましては、今後とも、構成市町村と協力連携を図り、印旛沼関連事業の連絡調整及び情報収集に努めてまいります。以上について報告するとともに、議員各位に対し理解と協力をお願いいたしました。

## 報告 2 酒々井町国民健康保険特定健康診査等実施計画について

糖尿病等の生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を減少させることを目的に、平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳から74歳を対象とした、特定健康診査及び特定保健指導の実施が医療保険者に義務づけられました。

### 特定健康診査等実施計画の策定

町国民健康保険としましては、健診・保健指導を効率的かつ効果的に実施するため、成果に関する具体的な目標や実施方法等について「特定健康診査等実施計画」を策定し実施していきます。

（実施計画書は、広報や町ホームページ等で公表を予定しています）

なお、当該計画につきましては、1月23日に開催しました「国保運営協議会」において、異議ない旨答申をいただきましたので、併せてご報告いたします。

#### 計画の目標

H24までに特定健康診査受診率65%、特定保健指導実施率を45%、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の10%減少

### 具体的な健診方法

保健センター等を会場とした集団方式、健診項目は腹囲測定が加わるなど若干の変更がありますが従来から行っている基本健康診査と同様です。

対象者には健診実施日の約1か月前までに通知します

実施時期：2つの区域に分けて実施していきます。

前期区域 6月実施 後期区域 11月実施

指定日都合が悪い場合変更可



町といたしましては、より多くの町民の方に受診していただくため、**健診の自己負担額は無料**といたしました。以上について報告するとともに、議員各位に対し理解と協力をお願いいたしました。

### 報告 3

## 放課後児童クラブ（大室台小<sup>おお</sup>大ちゃん学童クラブ） の開設について

放課後児童クラブについては、これまでに教室の改修工事や運営委員会の設置などについて経過報告をしてまいりましたが、平成20年1月4日に運営委員会と町が放課後児童クラブの運営に関する業務委託契約を締結し「公設民営」により運営を実施することになりました。

オープン記念セレモニーを開催

### 「大室台小<sup>おお</sup>大ちゃん学童クラブ」スタート

平成20年1月6日：オープン記念セレモニーを開催

町議会議長、教育民生常任委員長、教育委員、  
地域の皆様など来賓をお招きし開催

1月7日：正式に「大室台小大ちゃん学童クラブ」開設

大ちゃん学童クラブは、登録された21名の児童を指導員が常時3名により保育する体制をとっています。指導員は主任指導員1名、他5名が運営委員会に雇用されています。これまで特に大きな問題もなく順調に運営されておりますが、今後とも保護者・運営委員会・指導者・町が相互に連絡を取りながら、円滑な運営が図られるように指導監督に努めてまいりたいと考えております。

**大ちゃん学童だよりの発行** 運営委員会が2月中に広報紙を作成

町内の自治会を通じて回覧により、開所のお知らせやボランティアの募集など大ちゃん学童クラブの周知を図っています。

以上について報告いたしました。

## 報告 4 学校給食における食品の安全対策について

中国の天洋食品工場で製造され、ジェイティフーズ株式会社が輸入した中国産冷凍ギョーザによる食中毒の問題が1月30日に判明し、大きく報道されたところですが、問題とされる冷凍ギョーザ2商品については当町の学校給食では使用しておりませんでした。

ジェイティフーズ株式会社では、この2商品を含め天洋食品工場で生産された23品目の商品の自主回収を行ったことから、報道があった1月31日以降の献立で使用を予定した食材について調査したところ、該当の自主回収商品が無いことを確認いたしました。

さらに、本年度4月から使用した食材の中に該当の自主回収商品が使用されていないか調査したところ、「ポークピカタチーズ入り」「柔らかく煮込んだロールキャベツ」について、6月、10月、12月に使用実績がありましたが、いずれも健康被害の報告はありませんでした。

### 学校給食 緊急安全対策について

町は今回発生した問題を重く受けとめ、安全対策を定めました

- 1 国内産の食品を基本として使用する。
- 2 問題となっている冷凍食品の他、安全性が確認できない製品については使用しない。
- 3 中国産の加工食品について、当面の間、安全性が確認できない状況では使用しない。

なお、一部の野菜・きのこ類（里芋、キクラゲ）等の農産物を使用する場合は、取扱業者より食材検査証明書を提出させ安全性を確認したものを使用する。

「学校給食における食品の安全確保について」2月1日付けでお知らせ各学校の児童・生徒の保護者の皆様へは、学校を通して以上のような経緯と今後の対応についてお知らせいたしました。

今後とも、学校給食の安全性の確保に努めるとともに万全な衛生管理のもとに、児童・生徒の心身の健全なる発達に資するよう給食の提供をまいりますのでご理解の程よろしく願いいたします。以上について報告いたしました。